

國學院大學文学部

外国語文化学科 ガイドブック



Guten Tag!!

你好!

Hello!

Bonjour!

Kokugakulin University
Department of Foreign Languages and Culture Studies



KOKUGAKULIN U.
UNIVERSITY

國學院大學

もっと日本を。もっと世界へ。

4-10-28 Higashi, Shibuya-Ku,
Tokyo, 150-8440 Japan

VIA AIR



Contents

外国語文化学科とは 3

外国語文化学科のカリキュラム 4
2つのコース/科目・単位配分/授業科目の概要

世界への扉を開く 3つの留学制度 6

外国語文化学科から世界へ！
—先輩たちの海外留学・滞在記 8
フィリピン、上海、台湾：大貫 由美子
アメリカ合衆国、カナダ：山下 いづみ
台湾、アメリカ合衆国(ミズーリ、ビンガムトン)：後藤 樹杏
ドイツ、マレーシア：高橋 優花

教員紹介 12

卒業生の進路 —主要就職・進学先— 15



外国語文化学科とは

近年、急速に進展しつつある国際化・高度情報化の流れのなかでは、地球上に住むすべての人々の相互依存はますます高まり、人間の精神活動に深く関わる文化もまた孤立した存在ではあり得ません。このような状況のもとでは、地域別・言語別・民族別といった従来の学問的アプローチでは十分でなく、学際的・総合的に文化を研究する必要があります。

外国語文化学科には、言語と文化を融合した多彩なカリキュラムが用意されており、自由な雰囲気の中で、幅広い範囲の学問をきめ細かく学ぶことができます。少人数教育を基盤として、従来の学問体系と同時に学際的な領域にも積極的に踏み込めるように、教員と学生が意志疎通を図ることのできる教育体制を整えています。

外国語文化学科は、高い外国語能力に裏打ちされた異文化の総合的理解と、外国文化と日本文化の比較対照を行うことを理念としています。この理念に基づく教育・研究を実践することで、國學院の伝統を継承しつつ、国際社会に対して日本文化の「創造的発信」を行うことが可能になると考えます。

外国語文化学科では、言語の習得なき文化理解、あるいは文化の理解をともなわない言語の学習はあり得ないとの立場から、言語と文化を一体のものとして捉え、総合的に教育・研究します。このような教育・研究を行うことによって、外国文化と日本文化の双方に通じ、国際社会のなかで主体的に異文化コミュニケーションを実践できる人材が育成されるものと信じています。



外国語文化学科の カリキュラム

2つのコース

外国語文化学科には、「**外国語コミュニケーションコース**」と「**外国文化コース**」の2つのコースが設置されています。

「外国語コミュニケーションコース」は、必修外国語(英語)および選択外国語(ドイツ語・フランス語・中国語)のコミュニケーション能力を徹底的に養い、主体的な異文化コミュニケーションを実践できる人材の育成に重点が置かれるコースです。

「外国文化コース」は、学際的・総合的に外国文化を学び、国際社会において主体的に活躍できる人材の育成に重点が置かれるコースです。1年次では外国語文化学科の学生全員が両コースの学問領域を概括的に学び、2年次から各自がそれぞれのコースに分かれて専門的な学習を進めます。

授業科目の概要

導入科目

1年次前期の「外国語文化導入演習」では、言語と文化、および各専攻地域にかかわるアプローチを学びながら、大学での学びの基礎となる日本語運用能力を再確認し、図書館を使った調査の仕方と研究の方法、およびレポート執筆の方法などを学びます。また、「外国文化入門」では、基礎的な外国の文化を学びます。

外国語基礎演習・外国語演習

1年次から4年次まで配置されている外国語演習科目は、ネイティブ・スピーカーと日本人教員が担当し、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能の習得を目指します。とくに「英語演習Ⅰ・Ⅱ」では英語を基本的に「聞く・話す」技能、「英語文献演習Ⅰ・Ⅱ」では英語を基本的に「読む・書く」技能の習得に重点が置かれます。選択外国語(ドイツ語・フランス語・中国語)に関しても、1年次・2年次の外国語基礎演習科目においては、「読む・書く・聞く・話す」ために必要な基本的能力を徹底的に養うことに重点が置かれます。さらに「英文法」では英文法の基本を再確認し、2年次の「英語表現」・「ドイツ語表現」・「フランス語表現」・「中国語表現」では、各国語のコミュニケーション技能の実践的・総合的習得を目標とします。3年次と4年次の外国語演習科目については、総合的な言語運用能力の向上に重点が置かれます。なお、外国語コミュニケーションコースには、外国語基礎演習2科目4単位が多く割り当てられています。

科目・単位配分

| | | 外国語コミュニケーション コース | 外国文化コース | 備考 | |
|----------------|---------|---------------------|---------|-------|------|
| 専門 教育 科目 | 専門基礎科目 | 導入科目 | 2単位 | 2単位 | 必修 |
| | | 外国語基礎演習 | 24単位 | 24単位 | 必修 |
| | | | 12単位以上 | 8単位以上 | 選択必修 |
| | | 文化基礎演習 | | 4単位 | 必修 |
| | 専門応用科目 | 外国語演習 | 4単位以上 | 4単位以上 | 選択必修 |
| | | | 4単位以上 | 4単位以上 | 選択必修 |
| | 発展科目 | 選択Ⅰ類 | 4単位以上 | 2単位以上 | 選択必修 |
| | | 選択Ⅱ類 | 2単位以上 | 4単位以上 | 選択必修 |
| | 演習・卒業論文 | 外国語総合演習 | 4単位 | | 必修 |
| | | 文化総合演習 | | 4単位 | 必修 |
| 卒業論文 | | 8単位 | 8単位 | 必修 | |

文化基礎演習・文化総合演習

文化演習科目では、さまざまな文化とその研究について演習形式で学びます。とくに2年次の「文化基礎演習」では、文化を研究することの意義や方法など、文化の研究に必要な基本的能力を徹底的に養うことに重点が置かれ、3・4年次の「文化総合演習」では、その応用および集大成としての総合的能力を養います。なお、外国文化コースには、文化基礎演習2科目4単位が多く割り当てられています。

選択Ⅰ類(言語系)・選択Ⅱ類(文化系)

選択科目(言語系)には、「英米語概論」「ドイツ語研究」「フランス語研究」「中国語研究」「日本語学」「ビジネス英語」「Select English」、選択科目(文化系)には、「比較文化論」「英米地域文化論」「ヨーロッパ地域文化論」「中国地域文化論」「外国文学」「情報文化論」などの科目が設置されています。

卒業論文

「卒業論文」1科目8単位は必修です。3年次の前期履修登録時点で卒業論文の履修を登録し、3年次10月には卒業論文指導教員と相談の上「卒業論文第一次題目」を教務課に提出しなければなりません。さらに4年次7月に最終的な「卒業論文第二次題目」を教務課に提出し、4年次12月までに完成させなければなりません。題目を決めるに当たっては、「外国語総合演習」・「文化総合演習」における学びを踏まえて各自が決定します。なお、卒業論文指導教員は、外国語文化学科所属の専任教員を原則としますが、文学部所属の専任教員の中からも選ぶことができます。

より詳しいカリキュラムと履修方法については、『履修要綱』を参照してください。

世界への扉を開く 3つの留学制度

外国語の運用能力を高めるために、外国語文化学科では各国語圏への留学を推奨しています。

本学の留学制度には「短期留学」「セメスター留学」「協定留学」などがあります。各自の学修の目的、卒業後の進路などをよく考えた上で、積極的に参加してください。

なお、新型コロナウイルスの終息が見込めない場合には、海外渡航を伴う留学を中止する場合があります。詳細は、国際交流課が4月以降に実施する留学ガイダンスで確認してください。

1 短期留学

夏期・春期短期留学は、文化体験と外国語能力向上を目指して、集中的に語学を勉強する3～4週間の留学入門プログラムです。夏と春の長期休暇中に「短期留学」を実施しています。

2021年度 留学先

- 夏期 ダブリンシティ大学(アイルランド)
ケープブレトン大学(カナダ)
南台科技大学(台湾)
ブレーメン大学(ドイツ)
西部カトリック大学(フランス)
- 春期 アジアパシフィック テクノロジー &
イノベーション大学(マレーシア)
復旦大学(中国)

2 セメスター留学

セメスター留学は、高い語学能力習得を目的に、1学期間(4カ月間)の留学を行うプログラムです。留学先での在学期間と取得単位を、本学における修業年限と要卒単位に算入することができます。

2021年度 留学先

- クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド)
ヨーク・セント・ジョン大学(英国)
ミズーリ大学(米国)
マニトバ大学(カナダ)
国立台湾師範大学(台湾)
復旦大学(中国)



ミズーリ大学



ダブリンシティ大学



マニトバ大学



ハノイ大学



ケープブレトン大学

外国語文化学科 語学学修のモデル

*あくまでも一つのモデルであり、外国語文化学科の学生のすべてが留学に参加するわけではありません。

1年

短期留学

(夏休み・春休み)

約1ヶ月間

TOEIC
受験



3 協定留学

協定留学は、2学期間、または1学期間、海外協定校へ交換留学生として留学する留学制度です。留学先での学費は免除されます。現地の学生とともに学部授業に参加する留学と、留学先で話されている言語を学ぶ語学留学があります。

2021年度 留学先

- マニトバ大学(カナダ)
- ビンガムトン大学(米国)
- ヨーク・セント・ジョン大学(英国)
- 復旦大学中文系(中国)
- 南開大学(中国)
- 南台科技大学(台湾)
- 世新大学(台湾)
- 京畿大(韓国)
- ハノイ大学(ベトナム)

留学のための奨学金

海外の大学への留学を希望する皆さんに対して、経済的な負担を減らし支援する制度が充実しています。セメスター留学、協定留学のための奨学金に加え、2019年度から新たに短期留学のための奨学金が給付され、協定留学の奨学金も更に手厚くなっています。詳細は、国際交流課の個別相談や留学ガイダンスで確認してください。

国際交流課

国際交流課では、留学に関する個別相談を随時受け付けています。留学を考えている学生さんはぜひご利用ください。



留学制度の詳細については「国際交流ガイドブック」を参照してください。

フィリピン、上海、台湾



大貫 由美子

私は4年生の時に一年間休学し、台湾に留学しました。留学するきっかけは、3年生になる直前の春休みにフィリピンに一ヶ月留学した時のことです。高校では英語に特化したコースで学んでいたため、留学してみたいという思いはあったものの、大学入学後、新しい生活やサークルに夢中になり後回しになっていました。春休みを利用したフィリピン留学であれば期間も短く、費用の面でも挑戦しやすいという理由でしたが、そこでの一ヶ月間は私の人生の中で最も刺激的でした。マンツーマンの授業で一日中英語に触れることもさることながら、日本人・外国人ともに様々な場所からこれまでの経歴や価値観の異なる人が集まっています。彼らとの交流は私の価値観までも変えてしまい、もっと海外に挑戦して自分を成長させたいと思うようになりました。そして3年の後期に交換留学で上海へ行きました。

英語圏ではなく中国語圏を選んだのは、第二外国語で中国語を選択していたことと、中華圏の食事や文化が好きだったからです。國學院大学の交換留学先である復旦大学は名門大学であり、先生たちもとても優しく、世界中からきた留学生と一緒に学べた時間はとても素晴らしいものでした。交換留学を終えても自分の中国語のレベルと内面の成長に納得がいかず、休学して留学した先輩や国際交流課の方に相談した結果、休学して台湾に留学することを決めました。

台湾ではエージェントを通して入学した語学学

校に通い留学生寮に住んでいましたが、郊外にあったため台湾の雰囲気も感じづらく、日本人も多い学校だったので途中で自分で学校を変えました。一人で内見に行き家を探したり語学学校を申し込んだり、ビザのことを調べたり大変なこともたくさんありました。しかし中心地にある学校に変えてからはクラスメイトと授業後に出かけたり、台湾人と遊びに行くことも増え、新しい家も台湾人とのルームシェアだったので中国語を話す機会が増えました。そして環境をより良くするために行動を起こしたことで自分に自信が持てるようになりました。留学前に台湾中国語検定のレベル4に合格するという目標を決めたことも良かったです。留学中に台湾人の友人と毎週カフェで勉強して、目標を達成できたことで自信がつけました。

休学は今では珍しくないかもしれませんが、私には勇気が必要な選択でした。しかし留学を終えてみると、「もし休学して留学せず、あの楽しい時間を味わえていなかったら」と考えると恐ろしいほど、自分の中で大事な経験になっていました。決断をする時に背中を押してくれた家族や友人、国際交流課の方、留学経験のある先輩方に感謝しています。留学や休学に一步踏み出せない方がいたら、ぜひ挑戦してほしいです。そして留学中に自分で行動を起こすことで留学がより良いものになることをお伝えしたいです。



フィリピンにて



上海にて現地家族と



台湾にて



台湾にてクラスメイトと

アメリカ合衆国、カナダ

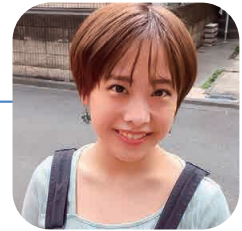
私は大学4年生になる直前の2月から、1年間休学留学という形でカナダのバンクーバーに留学をしていました。きっかけは1年生の春休みに参加した本学の短期留学です。1カ月という短い期間でしたが、英語や、海外の文化により強く興味を持ち、次は長期で留学をしたいと思うようになりました。休学留学を選んだ理由としてはフレキシブルさです。期間やプログラムを自ら決められることができるので、新たな可能性を広げることができると思いました。さらに、現地では能動的に行動していかななくてはいけないという厳しい環境に自分を置くことができるため、更なる成長に繋がると考えました。



留学先では初めの4カ月間語学学校に通い英語力を向上させ、その後8カ月間カレッジに通いました。カレッジではマーケティングや比較文化、カスタマーサービスなど幅広い分野について学んでいました。課題やプレゼンテーションの準備に追われる日々で正直辛いと思うことも多くあったのですが、確実にそれらは自分の力になったと思います。

カナダのカレッジや大学では、Co-opという実習(インターンシップ)付きのプログラムがあるので、カレッジに通っている期間は有給インターンシップとしてレストランで働いてもしました。

山下 いづみ



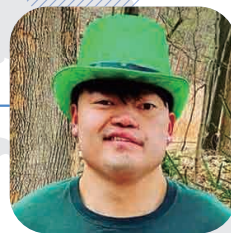
周りはネイティブスピーカーのスタッフのみという環境で、働き始めた当初は彼らのようにスムーズに接客が出来ないこともあり自分の不甲斐なさを感じることもありました。しかし6カ月目には店舗最優秀スタッフとして表彰されることができ、自らの成長を身に染みて実感することができました。

生活面では2カ月間のホームステイの後、自ら家を探しインドとベトナムの女の子と10カ月間シェアハウスをしていました。それぞれが異なる文化背景や価値観を持っていたため、ぶつかり合ってしまうことも何度かありました。このシェアハウスの経験を通して、私にとっての「当たり前」は必ずしも他の文化圏での「当たり前」だとは限らないと実感し、自分の要望を押し付けるのではなく、相手にとっての「当たり前」を理解、尊重しながら伝えることの大切さを学びました。

就職活動では、海外にも多く拠点を持つ物流企業から内定を頂くことができました。留学で得た語学力や異文化理解力を活かし、世界で活躍できる人材になりたいと思います。



台湾、アメリカ合衆国(ミズーリ、ビンガムトン)



後藤 樹杏

國學院大學の留学プログラムを利用し、3回留学をしました。まず、1年生の時に、台湾の台南科技大學に夏季短期留学をしました。次に、2年次の後期にセメスター留学をして、アメリカのミズーリ大学で学びました。さらに、3年生後期から4年生前期にかけて、アメリカのビンガムトン大学に協定留学をしました。



台湾の遊園地にて

夏季短期留学では中国語を夏休みの1か月間勉強しました。中国語の予備知識が全くない状態での留学でしたが、先生が丁寧に指導してくれ、また現地の学生がチューターとして授業外の自由時間に常に一緒にいて、様々な場所に連れて行ってくれたこともあり、とても充実した1か月を過ごすことができました。週末にはチューターや他の留学生とともに台南市内をまわったり、観光地に行ったりと、楽しいイベントが盛り沢山でした。

セメスター留学では、韓国人や中国人の学生とともに、英語やリーダーシップ、アメリカの歴史

の授業を受けました。授業だけでなく、現地の学生とキャンプに行ったりイベントを開催したり、バーやレストランに行ったりと、様々なアクティビティをしました。ただ英語を学ぶだけでなく、アメリカの文化を体験し、さらに韓国や中国のことを知ることができ、とても国際的な留学となりました。ハロウィンの日にはみんなで仮装し夜の街に繰り出したり、ホームカミングデーにはBBQをして、フットボールゲームを見に行ったりと楽しい思い出ばかりです。

協定留学では、現地の学生と同じように、自分で好きな授業を履修し、大学の寮に住みました。英語でアカデミックな授業を受けることは思った以上に大変で、課題も多く苦労しましたが、とても良い経験になりました。授業外では世界中から集まった留学生やアメリカ人の友人とバスケットボールやテニス、筋トレをしたり、毎週末友達とパーティーに参加したりと、アメリカンカレッジライフを堪能しました。長期休暇には別の州へ友達と旅行し様々な場所に観光にいきました。

どの留学でも、一生忘れることのできない思い出を数えきれないほど作ることができました。またこれらの経験を活かし、大学入学前から志望していた食品関係の海外営業職に就くことができました。大学生活4年間はあっという間です。もし留学してみたい気持ちが少しでもあるなら迷わず参加してほしいです。



交換留学生達とボストン旅行



ミズーリでのハロウィン



ボディビル世界一の男

ドイツ、マレーシア

高橋 優花



私は大学2年生の夏にドイツで短期留学に、大学3年生の夏にマレーシアでインターンシップに参加しました。それぞれの留学でたくさんのことを学びましたが、今回はその中でも私の内面を変えてくれた大切なことを紹介したいと思います。まず、私が参加したドイツ短期留学は、デュースブルク＝エッセン大学で行われ、ドイツ語初級から中級レベルの留学生が対象でした。2つのレベルに分けられ、私は下のクラスでしたが、授業はドイツ語と英語で進められました。クラス内だけでなく、美術館や教会見学を通してドイツの歴史を学ぶ機会も多くありました。



エッセン大学にて

この短期留学を通してドイツ語が話せるようになった！と声を大にして言いたいところですが、私は英語の方が得意になりました。今回の留学では日本人が2人しかおらず、友達やクラスメイトは中国と韓国からの留学生だったからです。みんな私と同じくドイツ語初心者プログラムで日本語もドイツ語も話せないため、常に英語で会話していました。

留学に行くまで私は正直、中国人に対してあま

り良い印象をもっていませんでした。韓国人もアイドルのイメージしかありませんでした。しかし優しく姉のような友達ができ先入観の恐ろしさを知り、一人一人と向き合う大切さを学びました。そして日本に帰ってから以前よりも留学生や外国人観光客と良好な関係が築けるようになりました。私にアイデンティティの大切さを教えてくれた友達とは、今も連絡を取り合って、休暇お互いの国へ会いに行っています。

マレーシアの短期留学では2週間の英語研修のあと、首都クアラルンプールにあるホテルでインターンシップとしてフロントデスクとコンシェルジュを2週間体験しました。私が働いたホテルはあまり忙しいわけではなく、暇な時間が多くありました。このままでは時間を無駄にしようと思いき、進んで声をかけるように心がけてからは、フロントの仕事やマレーシアについて教えていただき、暇な時間がすべて勉強の時間になりました。あの時行動を起こさなければ、充実したインターンシップにはならなかったのではないかと思います。「自分から行動することの大切さ」というありきたりな言葉を、初めて実感しました。

大学生活では2か国で新しいことに挑戦しました。短い時間ではありましたが、長さと比較できないほどたくさんの経験と考え方を吸収することができました。留学に少しでも興味のある方は、少しの勇気と引き換えに、自分だけの経験を手に入れてください！



▲マレーシアのホテルにて
◀先生と



マレーシアにて

外国語文化学科 教員紹介

浅井 理恵子

ASAI Rieko

専門領域

アメリカ現代史
ジェンダー史

英語とアメリカ社会に関する授業を担当しています。専門はアメリカ現代史で、現在は冷戦期の兵役制度について、ジェンダーの視点から研究しています。皆さんには、外国語と外国文化の学修を通じて、物事を「複眼的に」見る力を養ってほしいと思います。

岩瀬 由佳

IWASE Yuka

専門領域

説話文学

英語と英国の文化に関する授業を担当します。専門の関係で様々な言語を扱いますが、どの外国語でも文化の知識が不可欠だと感じます。外国語の演習は無味乾燥に感じがちですが、皆さんの好きな音楽や映画で使われている英語と教室で学ぶ英語は、別物ではないのです。楽しく学びたいですね。特に質問がなくても、研究室に気軽に遊びに来てください。

笠間 直穂子

KASAMA Naoko

専門領域

近現代フランス語文学

フランス語とフランス語圏文化を担当します。19世紀から今日にかけてフランスやスイスで書かれた小説を研究するほか、漫画などのポップカルチャーにも関心があります。フランス語は、ヨーロッパ、北・西アフリカ、カナダなどで使われています。フランス語を手がかりに、世界の多様な姿に触れて、好きなものをたくさん見つけましょう。研究室に話しに来てください。

上石田 麗子

KAMIISHIDA Reiko

専門領域

イギリス文学・文化
モダニズム文学

英語とイギリス文学・文化に関する授業を担当しています。専門分野はイギリス小説と20世紀初頭のモダニズム文化です。第二次産業革命を発端として生じた大量生産・大量消費社会の文化や芸術についても関心を持ち、研究を進めています。一緒にイギリス文化の世界を探索しましょう！どうぞ気軽に声をかけてください。

黒澤 直道

KUROSAWA Naomichi

専門領域

中国語、中国の文化と民族
ナシ族の言語と文化

中国語と中国の文化に関する授業を担当しています。中国語は、中国大陸や台湾だけではなく、シンガポールや世界各地の華僑社会でも使われています。中国語を勉強することで、それが用いられている広大な地域の文化に触れてみてください。

宍戸 節太郎

SHISHIDO Setsutaro

専門領域

ドイツ現代文学・思想・文化

ドイツ語とドイツ語圏の文学・文化を担当します。ユダヤ系ノーベル賞作家カネッティを中心に、現代ドイツの文学、思想、文化を研究テーマにしてきました。ここ数年は旧東独地域や旧ユーゴスラヴィア、とりわけスロヴェニアの人々の生活、文化状況が主な関心事です。

白井 重範

SHIRAI Shigenori

専門領域

中国近現代文学
中国社会文化論

研究対象は20世紀の中国語小説ですが、中国の社会と文化全般に関心を持っています。中国語を学べば、中国語圏のたくさんの人々と交流できるようになります。文学作品に触れば、昔の人々とも時空を超えた対話が可能です。中国社会の仕組みを知れば、日本のことが少し客観的に見えてきます。自分の世界が広がっていく知的興奮を、みなさんも存分に味わってください。

進藤 久乃

SHINDO Hisano

専門領域

20世紀フランス文学

フランス語関連科目を担当します。専門分野は20世紀フランス文学で、とりわけシュルレアリスムと呼ばれる芸術運動を中心に研究しています。近現代フランスにおける文学と美術の関わりについても勉強を続けています。

新しい語学を学ぶことで、新しい世界が見えてきます。どんなことでも「面白い」と思ったらその気持ちを大切に、回り道を恐れずに進んでください。

スピアーズ スコット

SPEARS Scott

専門領域

日本文学、翻訳論

アメリカの会社採用面接でよく聞かれる質問の中に「5年後、そして10年後、君は何がやっていきたいのか」というのがあります。大学に入る時も、それを自分に問うてみてほしいと思います。それをすることで、これからの大学での勉強をどうしていくべきかが見えてくると思うからです。もちろん、そのやりたい「何か」が変わることもあります。しかし、将来の自分を描いてみることは、大学での時間を有効に使う最もよい第一歩になると私は思います。

高橋 昌一郎

TAKAHASHI Shoichiro

専門領域

論理学、英米哲学
認知科学

主として「論理的思考」・「情報文化論」・「比較文化論」・「ディベート」などに関わる科目を担当しています。主要著書は『理性の限界』『知性の限界』『感性の限界』『フォン・ノイマンの哲学』『ゲーデルの哲学』（講談社現代新書）『東大生の論理』（ちくま新書）『20世紀論争史』『自己分析論』『反オカルト論』（光文社新書）『愛の論理学』（角川新書）『小林秀雄の哲学』（朝日新書）『哲学ディベート』（NHKブックス）『ノイマン・ゲーデル・チューリング』（筑摩選書）など。よろしく！

高屋 景一

TAKAYA Keiichi

専門領域

教育哲学、教育思想史
カリキュラム論

大学は勉強をするところです。でも、その勉強を、何らかの目的を達成するための単なる手段だと思つと、苦しみを耐え忍ぶことに意義があるかのように、堅く考えがちになります。それよりも、勉強の過程そのものを楽しめるよう、ちょっと工夫してみてください。大学というのは、そのようにして楽しむことが許される貴重な場であり、人生の一時期です。テスト対策のような「お勉強」だけが勉強ではありません。自分の視野を広げたり人生を豊かにしてくれそうなことを積極的に探し、挑戦して、何よりそれを楽しんでください。

新倉 真矢子

NIKURA Mayako

専門領域

音声学、音韻論
ドイツ語教育

ドイツ語とドイツ語圏の言語・文化を担当します。日常ドイツ語の音声に関わる現象とその背後にある規則性について研究しています。文字通り発音されない音が学習者の聞き取りにどのような影響を与えているかについても研究対象としています。日本語の他に英語ともう一つ外国語を学ぶ複言語教育を受けることは、ことばや文化を比較して相対化することにつながり、視野を広げることにもなります。

針谷 壮一

HARIGAYA Souichi

専門領域

現代中国語学

中国語を担当しています。18歳から中国語を学び始め、20代のときに北京に留学しました。ときどき中国の各地をぶらりと訪れ、街を散策するのが楽しみです。外国語を学ぶと、日本語や英語に「似ているなあ」と感じることもあれば「全く違う」と感じることもあります。世界は新鮮な発見に満ちています。言葉のおもしろさを、みなさんといっしょに考えていきましょう。

福井 崇史

FUKUI Takashi

専門領域

19世紀末アメリカ文学
批評理論

学生の皆さんには、「疑う能力」を身に付けてほしいと考えています。みだりに疑うことは好ましくないのは確かですが、この能力がなければ、人間は良くも悪くもここまで進化/進歩しなかったであろうことも、また確かでしょう。健全に、あるいは知的に疑い、それに対する答えを発見する——「あ、やっぱりそうだった」／「あ、そうじゃなかった」。色んなものにダマされないように、大学在学中にそんな練習をしてみるのも、無駄にはならないと思いますよ。ではまず手始めに、私のこのメッセージから疑ってみては？

深谷 優子

FUKAYA Yuko

専門領域

教育心理学

教職課程科目を担当します。専門は教育心理学で、読解や作文、読書などの教授学習の研究をしています。当然ですが、人は知らないものには興味も欲ももてません。知ること、経験することで皆さんの世界は確実に広がります。また、できなかったことも練習してうまくできるようになると、うれしくてもっと究めたくなるでしょう。学ぶことは自分の可能性を拓くこと。ぜひ何事にも挑戦してみてください。

藤野 敬介

FUJINO Keisuke

専門領域

英文学、教育・医療催眠

英語に限らず、学問を修得するためには、毎日少しずつでもよいので、コツコツと学び続けることが必要です。残念ながら、それ以外の道は存在しません。それゆえに、英語教員としての私の仕事は、学生の皆さんが日々の学修のモチベーションを維持するためのお手伝いをするにありと考えています。大変地道な道ではありますが、得ることのできるものは途方もなく大きなものです。一緒に頑張りましょう！

水口 学

MIZUGUCHI Manabu

専門領域

理論言語学、生物言語学、
統語論

言葉を習得するには、言語の仕組みを理解することがとても大切です。それを研究する分野に言語学があり、私は英語などの個別言語を通して言語の仕組みや本質を解明し、母語の習得や言葉の産出・理解を可能にしているヒト固有の言語能力を明らかにしようとしています。担当する英文法や英米語研究、そして英語科目を通して、言語研究の面白さや言葉の不思議を伝えていければと思っています。

山西 治男

YAMANISHI Haruo

専門領域

英語、英米文学・文化
翻訳

関心があるのは、主としてアメリカのこと、アメリカ文学や文化です。また、翻訳の仕事も多少やっています。「世の中に知らなくていいことは、一つもない」をモットーに、いまだに様々なことを勉強し続けていますが、学生のみなさんも、どうぞ自分で「限界」を設けず、なんでも貪欲に学びましょう。

卒業生の進路 —主要就職・進学先(直近6年分)—

| | |
|---------|---|
| 製造 | カゴメ、伊藤園、富士通ゼネラル、ブルボン、THK、スズキ、大王製紙、凸版印刷、塩野義製薬、沖電気工業、ブリヂストン、アイリスオーヤマ |
| 商社・小売 | 丸紅、三菱食品、三井食品、伊藤忠食品、国分首都圏、東急百貨店、資生堂ジャパン、コーセー化粧品販売、カネボウ化粧品販売、イオンリテール、シャネル、サマンサタバサ・リミテッドジャパン |
| 金融 | みずほフィナンシャルグループ、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、千葉銀行、SMBC信託銀行、りそなホールディングス、城南信用金庫、野村證券、クレディセゾン |
| 化学 | 大陽日酸 |
| 保険 | 第一生命保険、明治安田生命保険、住友生命保険 |
| 建設 | 大成建設、熊谷組、松井建設 |
| 不動産 | 東急リバブル |
| 運輸 | 日本航空、JALスカイ、ANAエアポートサービス、ANA成田エアポートサービス、ANA新千歳空港、ソラシドエア、京浜急行電鉄、東日本旅客鉄道 |
| 物流 | 近鉄エクスプレス、郵船ロジスティクス、日本通運 |
| 旅行・ホテル | JTB、エイチ・アイ・エス、近畿日本ツーリスト、プリンスホテル、マンダリンオリエンタル東京、パレスホテル、リゾートトラスト、三井不動産ホテルマネジメント、星野リゾートマネジメント |
| 通信・IT | 楽天、NTT東日本-南関東、都築電気、KDDI |
| マスコミ | 博報堂、博報堂プロダクツ、サイバーエージェント |
| 医療・保険業 | 日本赤十字社、昭和大学、地域医療振興協会、日本郵便 |
| 非営利 | 日本年金機構、明治記念館、人権教育啓発推進センター、農業協同組合 |
| 教員 | 中学・高校(北海道・東京・埼玉・千葉)、他、私立中学、高等学校 ※非常勤を含む |
| 公務員 | 東京国税局、防衛省、地方自治体 |
| 進学(大学院) | 筑波大学大学院、青山学院大学大学院、立教大学大学院、学習院大学大学院 |

國學院大學文学部

外国語文化学科ガイドブック

2022年4月1日 発行

編集・発行 國學院大學文学部外国語文化学科
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-4812
<http://www.kokugakuin.ac.jp/>

©2022 Kokugakuin University. All Rights Reserved.



KOKUGAKUIN
UNIVERSITY
140th
1882-2022

